

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 神奈川県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	足柄上病院	2	三浦市	市立病院	20
-	汐見台病院	3	厚木市	市立病院	21
-	精神医療センター	4	大和市	市立病院	22
-	がんセンター	5			
-	循環器呼吸器病センター	6			
-	こども医療センター	7			
横浜市	市民病院	8			
横浜市	みなと赤十字病院	9			
横浜市	脳卒中・神経脊椎センター	10			
川崎市	川崎病院	11			
川崎市	井田病院	12			
川崎市	多摩病院	13			
横須賀市	市民病院	14			
横須賀市	うわまち病院	15			
平塚市	平塚市民病院	16			
藤沢市	藤沢市民病院	17			
小田原市	市立病院	18			
茅ヶ崎市	市立病院	19			

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	足柄上病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	1,862,041,161	
標準財政規模(千円)	1,304,254,263	
財政力指数	0.89591	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	114.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	79,979			
1 経常収益	79,979			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	79,979			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	79,979			
2 経常費用	79,979			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	23.3	27.7
(うち委託料)	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	79,979			
(うち支払利息)	79,979	-	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	4,184,515			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	83.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	汐見台病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	1,862,041,161	
標準財政規模(千円)	1,304,254,263	
財政力指数	0.89591	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	114.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,300			
1 経常収益	1,300			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,300			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,300			
2 経常費用	1,300			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	23.3	27.7
(うち委託料)	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,300			
(うち支払利息)	1,300	-	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	11,080			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	精神医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	1,862,041,161	
標準財政規模(千円)	1,304,254,263	
財政力指数	0.89591	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	114.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	641			
1 経常収益	641			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	641			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	641			
2 経常費用	641			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	98.9
材料費	-	-	24.7	8.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	1.1
減価償却費	-	-	9.0	12.7
経費	-	-	23.3	34.6
(うち委託料)	-	-	11.5	17.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	641			
(うち支払利息)	641	-	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.9
医業収支比率	-		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	がんセンター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	1,862,041,161	
標準財政規模(千円)	1,304,254,263	
財政力指数	0.89591	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	114.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,251			
1 経常収益	3,251			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,251			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,251			
2 経常費用	3,251			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	54.0
材料費	-	-	24.7	26.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.2
減価償却費	-	-	9.0	7.9
経費	-	-	23.3	19.2
(うち委託料)	-	-	11.5	9.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,251			
(うち支払利息)	3,251	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	57,260			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	循環器呼吸器病センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	9,126,213	
決算規模（千円）	1,862,041,161	
標準財政規模（千円）	1,304,254,263	
財政力指数	0.89591	
経常収支比率（%）	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.1
	将来負担比率（%）	114.6

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	58,047			
1 経常収益	58,047			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	58,047			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	58,047			
2 経常費用	58,047			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	23.3	27.7
(うち委託料)	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	58,047			
(うち支払利息)	58,047	-	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	1,770,957			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	こども医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	1,862,041,161	
標準財政規模(千円)	1,304,254,263	
財政力指数	0.89591	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	114.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	148,088			
1 経常収益	148,088			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	148,088			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	148,088			
2 経常費用	148,088			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	54.0
材料費	-	-	24.7	26.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.2
減価償却費	-	-	9.0	7.9
経費	-	-	23.3	19.2
(うち委託料)	-	-	11.5	9.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	148,088			
(うち支払利息)	148,088	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	6,771,216			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	横浜市
				病院名	市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,124 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地		
診療科数	34	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	624	88.0	87.9	89.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	26	-	-	-
計	650	84.5	84.4	85.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	11.6	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	3,724,844	
決算規模(千円)	1,765,970,570	
標準財政規模(千円)	944,806,570	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	101.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	140.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.8
修正医業収益(千円)	21,810,874

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,667,928			
1 経常収益	23,667,928			
(1) 医業収益	21,990,932			
入院収益	14,682,721			
外来収益	6,691,950			
診療収入計	21,374,671			
その他医業収益	616,261			
(うち他会計負担金)	180,058			
(2) 医業外収益	1,676,996			
(うち国・都道府県補助金)	154,436			
(うち他会計補助・負担金)	913,034			
(うち長期前受金戻入)	369,203			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,590,772			
2 経常費用	23,417,458			
(1) 医業費用	22,531,576			
職員給与費	9,744,173	44.3	55.7	49.1
材料費	6,536,073	29.7	24.7	29.1
(うち薬品費)	3,838,530	17.5	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,581,916	11.7	11.0	12.7
減価償却費	880,828	4.0	9.0	8.4
経費	5,306,681	24.1	23.3	20.7
(うち委託料)	1,944,581	8.8	11.5	11.6
研究研修費	59,633			
資産減耗費	4,188			
(2) 医業外費用	885,882			
(うち支払利息)	13,853	0.1	1.4	1.2
(3) 特別損失	173,314			
損益				
経常損益	250,470			
純損益	77,156			
累積欠損金	5,227,376			
経常収支比率	101.1		97.7	98.8
医業収支比率	97.6		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	5.0		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	4.6		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	96.4		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	118,552,393
1 固定資産	95,637,270
(1) 有形固定資産	92,281,495
(2) 無形固定資産	379,278
(3) 投資その他の資産	2,976,497
2 流動資産	22,915,123
(1) 現金及び預金	16,773,445
(2) 未収金及び未収収益	5,884,802
(3) 貸倒引当金()	6,889
(4) 貯蔵品	225,087
3 繰延資産	-
負債合計	115,465,406
1 固定負債	82,768,048
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	76,163,952
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,604,096
(7) リース債務	-
2 流動負債	25,659,372
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,178,918
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,115,515
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,295,731
(9) 前受金及び前受収益	1,415
3 繰延収益	7,037,986
(1) 長期前受金	21,736,392
(2) 長期前受金収益化累計額()	14,698,406
資本合計	3,086,987
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-34,430,085
(1) 資本剰余金	8,536,685
(2) 利益剰余金	-42,966,770
負債・資本合計	118,552,393
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,093,092	1,093,092
資本勘定繰入	506,217	506,217
計	1,599,309	1,599,309

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	156.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	横浜市
				病院名	みなと赤十字病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	74,148 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地		
診療科数	36	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	584	83.6	87.5	83.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	55.5	54.1	62.1
感染症	-	-	-	-
計	634	81.4	84.8	81.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	11.6	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	3,724,844	
決算規模(千円)	1,765,970,570	
標準財政規模(千円)	944,806,570	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	101.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	140.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,602,218			
1 経常収益	2,602,218			
(1) 医業収益	61,093			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	61,093			
(うち他会計負担金)	61,093			
(2) 医業外収益	2,541,125			
(うち国・都道府県補助金)	39,678			
(うち他会計補助・負担金)	616,345			
(うち長期前受金戻入)	1,261,808			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,593,872			
2 経常費用	2,593,872			
(1) 医業費用	1,935,560			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	1,550,691	2538.2	9.0	8.4
経費	379,975	622.0	23.3	20.7
(うち委託料)	362	0.6	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	4,894			
(2) 医業外費用	658,312			
(うち支払利息)	537,291	879.5	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	8,346			
純損益	8,346			
累積欠損金	12,344,081			
経常収支比率	100.3		97.7	98.8
医業収支比率	3.2		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	26.0		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	1108.9		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	26.0		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	74.2		85.7	89.9

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	118,552,393
1 固定資産	95,637,270
(1) 有形固定資産	92,281,495
(2) 無形固定資産	379,278
(3) 投資その他の資産	2,976,497
2 流動資産	22,915,123
(1) 現金及び預金	16,773,445
(2) 未収金及び未収収益	5,884,802
(3) 貸倒引当金()	6,889
(4) 貯蔵品	225,087
3 繰延資産	-
負債合計	115,465,406
1 固定負債	82,768,048
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	76,163,952
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,604,096
(7) リース債務	-
2 流動負債	25,659,372
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,178,918
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,115,515
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,295,731
(9) 前受金及び前受収益	1,415
3 繰延収益	7,037,986
(1) 長期前受金	21,736,392
(2) 長期前受金収益化累計額()	14,698,406
資本合計	3,086,987
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-34,430,085
(1) 資本金剰余金	8,536,685
(2) 利益剰余金	-42,966,770
負債・資本合計	118,552,393
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	669,669	677,438
資本勘定繰入	1,288,047	1,513,168
計	1,957,716	2,190,606

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	156.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	横浜市
				病院名	脳卒中・神経脊椎センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,737 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	10	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	77.1	77.7	77.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	77.1	77.7	77.6
平均在院日数（一般病床のみ）		32.9	31.4	30.9

設立団体の状況		
人口（人）	3,724,844	
決算規模（千円）	1,765,970,570	
標準財政規模（千円）	944,806,570	
財政力指数	0.97	
経常収支比率（%）	101.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.2
	将来負担比率（%）	140.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	69.7
修正医業収益（千円）	5,248,049

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,739,312			
1 経常収益	7,732,380			
(1) 医業収益	5,348,864			
入院収益	4,702,325			
外来収益	501,464			
診療収入計	5,203,789			
その他医業収益	145,075			
(うち他会計負担金)	100,815			
(2) 医業外収益	2,383,516			
(うち国・都道府県補助金)	851			
(うち他会計補助・負担金)	1,826,606			
(うち長期前受金戻入)	401,366			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,932			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,993,805			
2 経常費用	7,990,339			
(1) 医業費用	7,530,861			
職員給与費	3,776,781	70.6	55.7	57.0
材料費	1,077,318	20.1	24.7	24.5
(うち薬品費)	229,646	4.3	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	752,730	14.1	11.0	11.3
減価償却費	682,021	12.8	9.0	9.3
経費	1,978,507	37.0	23.3	22.1
(うち委託料)	886,195	16.6	11.5	11.1
研究研修費	12,622			
資産減耗費	3,612			
(2) 医業外費用	459,478			
(うち支払利息)	235,332	4.4	1.4	1.4
(3) 特別損失	3,466			
損益				
経常損益	-257,959			
純損益	-254,493			
累積欠損金	25,395,313			
経常収支比率	96.8		97.7	96.4
医業収支比率	71.0		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	24.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	36.0		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	24.9		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	72.6		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	118,552,393
1 固定資産	95,637,270
(1) 有形固定資産	92,281,495
(2) 無形固定資産	379,278
(3) 投資その他の資産	2,976,497
2 流動資産	22,915,123
(1) 現金及び預金	16,773,445
(2) 未収金及び未収収益	5,884,802
(3) 貸倒引当金（ ）	6,889
(4) 貯蔵品	225,087
3 繰延資産	-
負債合計	115,465,406
1 固定負債	82,768,048
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	76,163,952
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,604,096
(7) リース債務	-
2 流動負債	25,659,372
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,178,918
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,115,515
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,295,731
(9) 前受金及び前受収益	1,415
3 繰延収益	7,037,986
(1) 長期前受金	21,736,392
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	14,698,406
資本合計	3,086,987
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-34,430,085
(1) 資本金剰余金	8,536,685
(2) 利益剰余金	-42,966,770
負債・資本合計	118,552,393
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,927,421	1,927,421
資本勘定繰入	965,502	965,502
計	2,892,923	2,892,923

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	156.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費（経常的経費）に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	川崎市
				病院名	川崎病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	49,890 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
診療科数	42	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	663	70.0	74.2	77.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	42.8	44.2	52.6
感染症	12	4.6	-	-
計	713	67.4	71.3	74.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	12.4	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,475,213	
決算規模(千円)	735,658,102	
標準財政規模(千円)	374,180,277	
財政力指数	1.02	
経常収支比率(%)	100.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	123.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.8
修正医業収益(千円)	16,471,774

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,160,084			
1 経常収益	20,421,029			
(1) 医業収益	17,613,568			
入院収益	11,415,053			
外来収益	4,782,506			
診療収入計	16,197,559			
その他医業収益	1,416,009			
(うち他会計負担金)	1,141,794			
(2) 医業外収益	2,807,461			
(うち国・都道府県補助金)	48,020			
(うち他会計補助・負担金)	1,903,096			
(うち長期前受金戻入)	355,324			
(うち資本費繰入収益)	281,312			
(3) 特別利益	739,055			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,452,366			
2 経常費用	20,157,394			
(1) 医業費用	19,198,140			
職員給与費	8,294,732	47.1	55.7	49.1
材料費	4,196,877	23.8	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,255,970	12.8	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,827,301	10.4	11.0	12.7
減価償却費	1,139,510	6.5	9.0	8.4
経費	5,468,894	31.0	23.3	20.7
(うち委託料)	2,475,942	14.1	11.5	11.6
研究研修費	69,350			
資産減耗費	28,777			
(2) 医業外費用	959,254			
(うち支払利息)	275,437	1.6	1.4	1.2
(3) 特別損失	294,972			
損益				
経常損益	263,635			
純損益	707,718			
累積欠損金	3,463,820			
経常収支比率	101.3		97.7	98.8
医業収支比率	91.7		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	17.3		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	14.4		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	86.2		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	51,080,909
1 固定資産	45,022,725
(1) 有形固定資産	45,019,922
(2) 無形固定資産	2,803
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,058,184
(1) 現金及び預金	1,824,953
(2) 未収金及び未収収益	4,124,102
(3) 貸倒引当金()	71,347
(4) 貯蔵品	179,549
3 繰延資産	-
負債合計	59,001,738
1 固定負債	49,292,959
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,715,048
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,502,751
(7) リース債務	75,160
2 流動負債	8,421,225
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,678,648
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	898,041
(6) リース債務	38,754
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,660,018
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,287,554
(1) 長期前受金	14,698,944
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,411,390
資本合計	-7,920,829
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-23,746,582
(1) 資本剰余金	1,793,598
(2) 利益剰余金	-25,540,180
負債・資本合計	51,080,909
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	7,920,829
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,633,275

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,044,419	3,044,890
資本勘定繰入	1,316,492	1,316,492
計	4,360,911	4,361,382

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	94.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	川崎市
				病院名	井田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,071 m ²	指定病院の状況	救臨が感	輪	
診療科数	37	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	343	84.6	83.5	81.9
療養	-	-	-	-
結核	40	43.2	38.4	55.5
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	383	80.2	78.8	79.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	15.5	14.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,475,213	
決算規模(千円)	735,658,102	
標準財政規模(千円)	374,180,277	
財政力指数	1.02	
経常収支比率(%)	100.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	123.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.7
修正医業収益(千円)	8,257,643

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,604,812			
1 経常収益	10,567,725			
(1) 医業収益	8,593,923			
入院収益	5,217,562			
外来収益	2,838,253			
診療収入計	8,055,815			
その他医業収益	538,108			
(うち他会計負担金)	336,280			
(2) 医業外収益	1,973,802			
(うち国・都道府県補助金)	14,392			
(うち他会計補助・負担金)	1,498,918			
(うち長期前受金戻入)	225,574			
(うち資本費繰入収益)	130,087			
(3) 特別利益	37,087			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,029,912			
2 経常費用	10,933,524			
(1) 医業費用	10,360,318			
職員給与費	4,436,728	51.6	55.7	57.0
材料費	2,174,972	25.3	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,304,281	15.2	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	805,105	9.4	11.0	11.3
減価償却費	944,561	11.0	9.0	9.3
経費	2,775,662	32.3	23.3	22.1
(うち委託料)	1,161,866	13.5	11.5	11.1
研究研修費	21,528			
資産減耗費	6,867			
(2) 医業外費用	573,206			
(うち支払利息)	239,615	2.8	1.4	1.4
(3) 特別損失	96,388			
損益				
経常損益	-365,799			
純損益	-425,100			
累積欠損金	18,932,792			
経常収支比率	96.7		97.7	96.4
医業収支比率	83.0		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	17.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	21.4		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	17.3		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	79.9		85.7	85.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	51,080,909
1 固定資産	45,022,725
(1) 有形固定資産	45,019,922
(2) 無形固定資産	2,803
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,058,184
(1) 現金及び預金	1,824,953
(2) 未収金及び未収収益	4,124,102
(3) 貸倒引当金()	71,347
(4) 貯蔵品	179,549
3 繰延資産	-
負債合計	59,001,738
1 固定負債	49,292,959
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,715,048
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,502,751
(7) リース債務	75,160
2 流動負債	8,421,225
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,678,648
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	898,041
(6) リース債務	38,754
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,660,018
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,287,554
(1) 長期前受金	14,698,944
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,411,390
資本合計	-7,920,829
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-23,746,582
(1) 資本金剰余金	1,793,598
(2) 利益剰余金	-25,540,180
負債・資本合計	51,080,909
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	7,920,829
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,633,275

備考:
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,835,145	1,835,198
資本勘定繰入	357,834	357,834
計	2,192,979	2,193,032

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	94.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	川崎市
				病院名	多摩病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,620 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	32	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	376	83.0	81.9	82.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	376	83.0	81.9	82.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	10.1	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,475,213	
決算規模(千円)	735,658,102	
標準財政規模(千円)	374,180,277	
財政力指数	1.02	
経常収支比率(%)	100.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	123.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,940,034			
1 経常収益	1,917,094			
(1) 医業収益	968,382			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	968,382			
(うち他会計負担金)	298,957			
(2) 医業外収益	948,712			
(うち国・都道府県補助金)	1,809			
(うち他会計補助・負担金)	462,592			
(うち長期前受金戻入)	483,374			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	22,940			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,777,925			
2 経常費用	1,777,764			
(1) 医業費用	1,461,018			
職員給与費	32,785	3.4	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	760,305	78.5	9.0	9.3
経費	667,928	69.0	23.3	22.1
(うち委託料)	35,681	3.7	11.5	11.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	316,746			
(うち支払利息)	316,242	32.7	1.4	1.4
(3) 特別損失	161			
損益				
経常損益	139,330			
純損益	162,109			
累積欠損金	3,143,568			
経常収支比率	107.8		97.7	96.4
医業収支比率	66.3		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	39.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	78.6		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	39.3		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	65.0		85.7	85.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	51,080,909
1 固定資産	45,022,725
(1) 有形固定資産	45,019,922
(2) 無形固定資産	2,803
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,058,184
(1) 現金及び預金	1,824,953
(2) 未収金及び未収収益	4,124,102
(3) 貸倒引当金()	71,347
(4) 貯蔵品	179,549
3 繰延資産	-
負債合計	59,001,738
1 固定負債	49,292,959
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,715,048
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,502,751
(7) リース債務	75,160
2 流動負債	8,421,225
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,678,648
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	898,041
(6) リース債務	38,754
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,660,018
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,287,554
(1) 長期前受金	14,698,944
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,411,390
資本合計	-7,920,829
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-23,746,582
(1) 資本金剰余金	1,793,598
(2) 利益剰余金	-25,540,180
負債・資本合計	51,080,909
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	7,920,829
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,633,275

備考:
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	45.8
修正医業収益(千円)	669,425

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	761,549	761,549
資本勘定繰入	644,377	644,377
計	1,405,926	1,405,926

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	94.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	横須賀市
				病院名	市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,943 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
診療科数	29	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	476	52.0	55.1	54.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	8.2	-	-
計	482	51.4	54.4	53.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	14.1	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	406,586	
決算規模(千円)	160,949,339	
標準財政規模(千円)	82,779,959	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	102.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	31.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	691,550			
1 経常収益	691,550			
(1) 医業収益	420,482			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	420,482			
(うち他会計負担金)	402,000			
(2) 医業外収益	271,068			
(うち国・都道府県補助金)	13,264			
(うち他会計補助・負担金)	228,000			
(うち長期前受金戻入)	16,032			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	858,035			
2 経常費用	850,752			
(1) 医業費用	819,100			
職員給与費	30,066	7.2	55.7	54.0
材料費	-	-	24.7	26.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.2
減価償却費	586,190	139.4	9.0	7.9
経費	141,484	33.6	23.3	19.2
(うち委託料)	19,746	4.7	11.5	9.3
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	61,360	-	-	-
(2) 医業外費用	31,652	-	-	-
(うち支払利息)	19,920	4.7	1.4	1.3
(3) 特別損失	7,283	-	-	-
損益				
経常損益	-159,202			
純損益	-166,485			
累積欠損金	7,395,769			
経常収支比率	81.3		97.7	98.8
医業収支比率	51.3		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	91.1		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	149.8		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	91.1		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	7.2		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,894,610
1 固定資産	12,033,517
(1) 有形固定資産	12,029,836
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,861,093
(1) 現金及び預金	3,735,915
(2) 未収金及び未収収益	81,589
(3) 貸倒引当金()	5,260
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,337,383
1 固定負債	4,018,727
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,962,214
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	56,513
(7) リース債務	-
2 流動負債	650,502
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	486,325
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,410
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	154,422
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	668,154
(1) 長期前受金	1,901,638
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,233,484
資本合計	10,557,227
1 資本金	12,660,956
2 剰余金	-2,103,729
(1) 資本金剰余金	4,061,627
(2) 利益剰余金	-6,165,356
負債・資本合計	15,894,610
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.3
修正医業収益(千円)	18,482

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	683,303	630,000
資本勘定繰入	216,772	170,000
計	900,075	800,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	887.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	横須賀市
	病院名	うわまち病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,514 m ²	指定病院の状況	救臨地輪
診療科数	28	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	367	80.4	80.4	83.3
療養	50	85.2	68.8	29.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	80.9	79.0	76.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	10.7	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	406,586	
決算規模(千円)	160,949,339	
標準財政規模(千円)	82,779,959	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	102.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	31.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	596,238			
1 経常収益	596,238			
(1) 医業収益	273,956			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	273,956			
(うち他会計負担金)	253,000			
(2) 医業外収益	322,282			
(うち国・都道府県補助金)	13,525			
(うち他会計補助・負担金)	129,000			
(うち長期前受金戻入)	44,379			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	561,014			
2 経常費用	561,014			
(1) 医業費用	536,470			
職員給与費	27,790	10.1	55.7	54.0
材料費	-	-	24.7	26.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.2
減価償却費	353,796	129.1	9.0	7.9
経費	143,556	52.4	23.3	19.2
(うち委託料)	23,098	8.4	11.5	9.3
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	11,328	-	-	-
(2) 医業外費用	24,544	-	-	-
(うち支払利息)	17,331	6.3	1.4	1.3
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	35,224			
純損益	35,224			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.3		97.7	98.8
医業収支比率	51.1		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	64.1		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	139.4		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	64.1		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	38.2		85.7	89.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,894,610
1 固定資産	12,033,517
(1) 有形固定資産	12,029,836
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,861,093
(1) 現金及び預金	3,735,915
(2) 未収金及び未収収益	81,589
(3) 貸倒引当金()	5,260
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,337,383
1 固定負債	4,018,727
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,962,214
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	56,513
(7) リース債務	-
2 流動負債	650,502
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	486,325
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,410
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	154,422
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	668,154
(1) 長期前受金	1,901,638
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,233,484
資本合計	10,557,227
1 資本金	12,660,956
2 剰余金	-2,103,729
(1) 資本金剰余金	4,061,627
(2) 利益剰余金	-6,165,356
負債・資本合計	15,894,610
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	3.9
修正医業収益(千円)	20,956

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	551,763	382,000
資本勘定繰入	251,413	104,000
計	803,176	486,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	887.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	平塚市
	病院名	平塚市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,719 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪
診療科数	29	看護配置	7 : 1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	410	85.1	85.4	79.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	416	83.9	84.2	78.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.5	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	258,227	
決算規模(千円)	82,321,541	
標準財政規模(千円)	48,842,924	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.4
	将来負担比率(%)	24.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.2
修正医業収益(千円)	11,976,100

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,088,314			
1 経常収益	13,788,908			
(1) 医業収益	12,384,900			
入院収益	8,593,845			
外来収益	3,115,134			
診療収入計	11,708,979			
その他医業収益	675,921			
(うち他会計負担金)	408,800			
(2) 医業外収益	1,404,008			
(うち国・都道府県補助金)	44,192			
(うち他会計補助・負担金)	956,051			
(うち長期前受金戻入)	148,280			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	299,406			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,106,674			
2 経常費用	13,839,026			
(1) 医業費用	13,270,504			
職員給与費	5,938,481	47.9	55.7	54.0
材料費	2,697,664	21.8	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,282,091	10.4	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,415,573	11.4	11.0	12.2
減価償却費	1,017,671	8.2	9.0	7.9
経費	3,575,983	28.9	23.3	19.2
(うち委託料)	1,512,389	12.2	11.5	9.3
研究研修費	33,157			
資産減耗費	7,548			
(2) 医業外費用	568,522			
(うち支払利息)	91,332	0.7	1.4	1.3
(3) 特別損失	267,648			
損益				
経常損益	-50,118			
純損益	-18,360			
累積欠損金	5,586,538			
経常収支比率	99.6		97.7	98.8
医業収支比率	93.3		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	9.7		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	89.8		85.7	89.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,938,928
1 固定資産	17,611,156
(1) 有形固定資産	15,998,698
(2) 無形固定資産	501,799
(3) 投資その他の資産	1,110,659
2 流動資産	4,327,772
(1) 現金及び預金	1,738,351
(2) 未収金及び未収収益	2,577,185
(3) 貸倒引当金()	96,609
(4) 貯蔵品	89,060
3 繰延資産	-
負債合計	21,124,443
1 固定負債	17,835,501
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,045,723
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,500,000
(6) 引当金	2,028,307
(7) リース債務	261,471
2 流動負債	1,968,457
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	537,463
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	436,801
(6) リース債務	130,810
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	852,560
(9) 前受金及び前受収益	505
3 繰延収益	1,320,485
(1) 長期前受金	2,695,307
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,374,822
資本合計	814,485
1 資本金	6,199,592
2 剰余金	-5,385,107
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-5,385,107
負債・資本合計	21,938,928
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,369,291	1,364,851
資本勘定繰入	333,414	237,465
計	1,702,705	1,602,316

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	藤沢市
				病院名	藤沢市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,646 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地		
診療科数	35	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	530	88.0	89.9	90.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	10.0	-	-
計	536	87.1	88.9	89.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.5	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	423,894	
決算規模(千円)	151,999,652	
標準財政規模(千円)	86,144,671	
財政力指数	1.06	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.3
	将来負担比率(%)	47.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.8
修正医業収益(千円)	18,001,901

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,680,570			
1 経常収益	19,672,437			
(1) 医業収益	18,546,921			
入院収益	12,151,553			
外来収益	5,381,852			
診療収入計	17,533,405			
その他医業収益	1,013,516			
(うち他会計負担金)	545,020			
(2) 医業外収益	1,125,516			
(うち国・都道府県補助金)	108,347			
(うち他会計補助・負担金)	809,733			
(うち長期前受金戻入)	42,175			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,133			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,708,886			
2 経常費用	20,581,451			
(1) 医業費用	19,611,228			
職員給与費	8,996,735	48.5	55.7	49.1
材料費	5,155,665	27.8	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,563,000	13.8	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,461,012	13.3	11.0	12.7
減価償却費	1,390,103	7.5	9.0	8.4
経費	4,005,937	21.6	23.3	20.7
(うち委託料)	2,154,561	11.6	11.5	11.6
研究研修費	45,106			
資産減耗費	17,682			
(2) 医業外費用	970,223			
(うち支払利息)	98,505	0.5	1.4	1.2
(3) 特別損失	127,435			
損益				
経常損益	-909,014			
純損益	-1,028,316			
累積欠損金	4,669,343			
経常収支比率	95.6		97.7	98.8
医業収支比率	94.6		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.3		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	6.9		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	89.0		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,749,413
1 固定資産	15,968,131
(1) 有形固定資産	14,872,650
(2) 無形固定資産	624,695
(3) 投資その他の資産	470,786
2 流動資産	7,781,282
(1) 現金及び預金	4,894,512
(2) 未収金及び未収収益	2,874,013
(3) 貸倒引当金()	27,936
(4) 貯蔵品	40,693
3 繰延資産	-
負債合計	18,786,859
1 固定負債	15,398,108
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,811,857
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,019,209
(7) リース債務	567,042
2 流動負債	2,903,045
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	471,125
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	541,164
(6) リース債務	212,523
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,591,501
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	485,706
(1) 長期前受金	871,306
(2) 長期前受金収益化累計額()	385,600
資本合計	4,962,554
1 資本金	9,575,890
2 剰余金	-4,613,336
(1) 資本剰余金	56,007
(2) 利益剰余金	-4,669,343
負債・資本合計	23,749,413
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,521,930	1,354,753
資本勘定繰入	17,538	17,538
計	1,539,468	1,372,291

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	小田原市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,393 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
診療科数	26	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	417	86.3	83.2	82.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	86.3	83.2	82.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.0	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	194,086	
決算規模(千円)	73,774,397	
標準財政規模(千円)	37,854,802	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.1
	将来負担比率(%)	9.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.2
修正医業収益(千円)	12,291,060

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,839,145			
1 経常収益	13,829,253			
(1) 医業収益	12,586,314			
入院収益	8,843,551			
外来収益	3,323,990			
診療収入計	12,167,541			
その他医業収益	418,773			
(うち他会計負担金)	295,254			
(2) 医業外収益	1,242,939			
(うち国・都道府県補助金)	60,625			
(うち他会計補助・負担金)	1,104,746			
(うち長期前受金戻入)	10,602			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,892			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,786,173			
2 経常費用	13,726,221			
(1) 医業費用	13,193,678			
職員給与費	6,436,404	51.1	55.7	54.0
材料費	3,140,904	25.0	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,650,602	13.1	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,489,352	11.8	11.0	12.2
減価償却費	770,876	6.1	9.0	7.9
経費	2,814,182	22.4	23.3	19.2
(うち委託料)	1,255,135	10.0	11.5	9.3
研究研修費	29,049			
資産減耗費	2,263			
(2) 医業外費用	532,543			
(うち支払利息)	8,729	0.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	59,952			
損益				
経常損益	103,032			
純損益	52,972			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.8		97.7	98.8
医業収支比率	95.4		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	10.1		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	90.6		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,044,340
1 固定資産	5,097,956
(1) 有形固定資産	4,927,037
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	170,919
2 流動資産	4,946,384
(1) 現金及び預金	2,676,058
(2) 未収金及び未収収益	2,261,419
(3) 貸倒引当金()	13,000
(4) 貯蔵品	21,907
3 繰延資産	-
負債合計	3,471,452
1 固定負債	1,632,244
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	499,977
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,106,333
(7) リース債務	25,934
2 流動負債	1,705,320
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	193,279
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	353,888
(6) リース債務	178,968
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	963,438
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	133,888
(1) 長期前受金	524,790
(2) 長期前受金収益化累計額()	390,902
資本合計	6,572,888
1 資本金	4,872,663
2 剰余金	1,700,225
(1) 資本金剰余金	176,813
(2) 利益剰余金	1,523,412
負債・資本合計	10,044,340
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,544,743	1,400,000
資本勘定繰入	325,569	-
計	1,870,312	1,400,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	茅ヶ崎市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,878 m ²	指定病院の状況	救臨 災地		
診療科数	27	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	401	75.1	74.3	75.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	401	75.1	74.3	75.2
平均在院日数（一般病床のみ）		10.8	10.7	11.4

設立団体の状況		
人口（人）	239,348	
決算規模（千円）	73,209,944	
標準財政規模（千円）	41,970,645	
財政力指数	0.96	
経常収支比率（%）	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	0.7
	将来負担比率（%）	48.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	86.6
修正医業収益（千円）	9,851,820

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,075,368			
1 経常収益	11,882,700			
(1) 医業収益	10,399,786			
入院収益	6,354,299			
外来収益	3,180,491			
診療収入計	9,534,790			
その他医業収益	864,996			
(うち他会計負担金)	547,966			
(2) 医業外収益	1,482,914			
(うち国・都道府県補助金)	36,656			
(うち他会計補助・負担金)	1,181,461			
(うち長期前受金戻入)	197,678			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	192,668			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,984,841			
2 経常費用	11,942,255			
(1) 医業費用	11,379,698			
職員給与費	5,900,594	56.7	55.7	54.0
材料費	2,400,521	23.1	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,268,135	12.2	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,066,291	10.3	11.0	12.2
減価償却費	806,803	7.8	9.0	7.9
経費	2,238,596	21.5	23.3	19.2
(うち委託料)	1,258,400	12.1	11.5	9.3
研究研修費	27,454			
資産減耗費	5,730			
(2) 医業外費用	562,557			
(うち支払利息)	129,230	1.2	1.4	1.3
(3) 特別損失	42,586			
損益				
経常損益	-59,555			
純損益	90,527			
累積欠損金	5,616,083			
経常収支比率	99.5		97.7	98.8
医業収支比率	91.4		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	14.6		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	16.6		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	14.3		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	85.0		85.7	89.1

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	13,810,545
1 固定資産	10,019,546
(1) 有形固定資産	9,625,270
(2) 無形固定資産	231,403
(3) 投資その他の資産	162,873
2 流動資産	3,790,999
(1) 現金及び預金	2,120,230
(2) 未収金及び未収収益	1,658,315
(3) 貸倒引当金（ ）	90,660
(4) 貯蔵品	103,114
3 繰延資産	-
負債合計	12,264,324
1 固定負債	9,733,619
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,868,469
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,773,765
(7) リース債務	91,385
2 流動負債	2,052,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	691,556
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	358,270
(6) リース債務	133,088
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	826,582
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	478,468
(1) 長期前受金	5,808,195
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	5,329,727
資本合計	1,546,221
1 資本金	5,383,112
2 剰余金	-3,836,891
(1) 資本剰余金	1,779,192
(2) 利益剰余金	-5,616,083
負債・資本合計	13,810,545
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	768,140	1,729,427
資本勘定繰入	612,411	431,204
計	1,380,551	2,160,631

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	54.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	三浦市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	9,393 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	13	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	136	92.9	89.3	83.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	136	92.9	89.3	83.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	15.5	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	45,289	
決算規模(千円)	19,839,477	
標準財政規模(千円)	9,861,034	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	104.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	162.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.1
修正医業収益(千円)	2,287,452

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,594,861			
1 経常収益	2,594,861			
(1) 医業収益	2,460,285			
入院収益	1,590,290			
外来収益	555,465			
診療収入計	2,145,755			
その他医業収益	314,530			
(うち他会計負担金)	172,833			
(2) 医業外収益	134,576			
(うち国・都道府県補助金)	2,885			
(うち他会計補助・負担金)	86,531			
(うち長期前受金戻入)	11,155			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,573,804			
2 経常費用	2,570,341			
(1) 医業費用	2,457,221			
職員給与費	1,242,524	50.5	55.7	61.3
材料費	279,823	11.4	24.7	17.6
(うち薬品費)	116,610	4.7	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	162,207	6.6	11.0	8.2
減価償却費	172,710	7.0	9.0	10.2
経費	732,503	29.8	23.3	30.5
(うち委託料)	291,381	11.8	11.5	13.0
研究研修費	25,826			
資産減耗費	3,835			
(2) 医業外費用	113,120			
(うち支払利息)	39,820	1.6	1.4	1.6
(3) 特別損失	3,463			
損益				
経常損益	24,520			
純損益	21,057			
累積欠損金	893,572			
経常収支比率	101.0		97.7	96.5
医業収支比率	100.1		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	90.9		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,818,482
1 固定資産	2,617,612
(1) 有形固定資産	2,607,368
(2) 無形固定資産	444
(3) 投資その他の資産	9,800
2 流動資産	1,200,870
(1) 現金及び預金	651,531
(2) 未収金及び未収収益	545,754
(3) 貸倒引当金()	9,189
(4) 貯蔵品	9,890
3 繰延資産	-
負債合計	2,799,429
1 固定負債	2,177,826
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,006,040
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	171,786
(7) リース債務	-
2 流動負債	521,862
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	230,348
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	97,138
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	165,653
(9) 前受金及び前受収益	15,200
3 繰延収益	99,741
(1) 長期前受金	291,453
(2) 長期前受金収益化累計額()	191,712
資本合計	1,019,053
1 資本金	1,912,625
2 剰余金	-893,572
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-893,572
負債・資本合計	3,818,482
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	259,364	259,364
資本勘定繰入	114,753	114,753
計	374,117	374,117

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	36.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	厚木市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,585 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地		
診療科数	27	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	341	73.6	77.3	78.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	7.9	-	-
計	347	72.5	76.0	77.0
平均在院日数(一般病床のみ)		9.7	9.9	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	225,714	
決算規模(千円)	91,263,146	
標準財政規模(千円)	50,573,126	
財政力指数	1.21	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.6
	将来負担比率(%)	38.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.5
修正医業収益(千円)	8,473,389

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,975,189			
1 経常収益	9,956,038			
(1) 医業収益	9,303,536			
入院収益	5,546,534			
外来収益	2,740,733			
診療収入計	8,287,267			
その他医業収益	1,016,269			
(うち他会計負担金)	830,147			
(2) 医業外収益	652,502			
(うち国・都道府県補助金)	35,006			
(うち他会計補助・負担金)	215,930			
(うち長期前受金戻入)	315,264			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	19,151			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,292,745			
2 経常費用	11,268,497			
(1) 医業費用	10,790,193			
職員給与費	4,361,739	46.9	55.7	57.0
材料費	2,133,615	22.9	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,117,215	12.0	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,014,655	10.9	11.0	11.3
減価償却費	1,233,503	13.3	9.0	9.3
経費	3,027,367	32.5	23.3	22.1
(うち委託料)	1,401,220	15.1	11.5	11.1
研究研修費	20,709			
資産減耗費	13,260			
(2) 医業外費用	478,304			
(うち支払利息)	110,576	1.2	1.4	1.4
(3) 特別損失	24,248			
損益				
経常損益	-1,312,459			
純損益	-1,317,556			
累積欠損金	7,692,954			
経常収支比率	88.4		97.7	96.4
医業収支比率	86.2		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	10.5		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	79.1		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,571,629
1 固定資産	18,289,599
(1) 有形固定資産	17,081,066
(2) 無形固定資産	15,011
(3) 投資その他の資産	1,193,522
2 流動資産	2,282,030
(1) 現金及び預金	867,412
(2) 未収金及び未収収益	1,361,617
(3) 貸倒引当金()	1,734
(4) 貯蔵品	54,735
3 繰延資産	-
負債合計	21,243,442
1 固定負債	18,472,095
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,408,622
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,247,420
(6) 引当金	797,226
(7) リース債務	18,827
2 流動負債	1,894,805
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	674,070
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	33,240
(5) 引当金	337,683
(6) リース債務	35,306
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	806,536
(9) 前受金及び前受収益	2,750
3 繰延収益	876,542
(1) 長期前受金	2,554,843
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,678,301
資本合計	-671,813
1 資本金	4,034,683
2 剰余金	-4,706,496
(1) 資本金剰余金	2,924,458
(2) 利益剰余金	-7,630,954
負債・資本合計	20,571,629
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	671,813
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,604,527	1,046,077
資本勘定繰入	481,901	2,789,376
計	2,086,428	3,835,453

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	226,259	2.4
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	82.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	大和市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,111 m ²	指定病院の状況	救臨が災輪		
診療科数	31	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	403	75.8	73.9	70.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	403	75.8	73.9	70.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.3	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	232,922	
決算規模(千円)	75,983,986	
標準財政規模(千円)	41,666,269	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	99.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.2
	将来負担比率(%)	38.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.0
修正医業収益(千円)	10,166,948

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,037,767			
1 経常収益	12,035,238			
(1) 医業収益	10,535,500			
入院収益	6,451,200			
外来収益	3,373,490			
診療収入計	9,824,690			
その他医業収益	710,810			
(うち他会計負担金)	368,552			
(2) 医業外収益	1,499,738			
(うち国・都道府県補助金)	74,870			
(うち他会計補助・負担金)	989,754			
(うち長期前受金戻入)	345,472			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,529			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,397,056			
2 経常費用	12,264,782			
(1) 医業費用	11,688,787			
職員給与費	5,348,620	50.8	55.7	54.0
材料費	2,659,989	25.2	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,369,814	13.0	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,202,940	11.4	11.0	12.2
減価償却費	835,162	7.9	9.0	7.9
経費	2,812,845	26.7	23.3	19.2
(うち委託料)	1,020,102	9.7	11.5	9.3
研究研修費	18,636			
資産減耗費	13,535			
(2) 医業外費用	575,995			
(うち支払利息)	98,333	0.9	1.4	1.3
(3) 特別損失	132,274			
損益				
経常損益	-229,544			
純損益	-359,289			
累積欠損金	8,115,629			
経常収支比率	98.1		97.7	98.8
医業収支比率	90.1		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.3		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.9		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	11.3		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	87.1		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,013,276
1 固定資産	8,756,454
(1) 有形固定資産	7,542,930
(2) 無形固定資産	931,483
(3) 投資その他の資産	282,041
2 流動資産	2,256,822
(1) 現金及び預金	557,691
(2) 未収金及び未収収益	1,682,044
(3) 貸倒引当金()	8,227
(4) 貯蔵品	25,294
3 繰延資産	-
負債合計	10,520,086
1 固定負債	5,827,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,363,783
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	1,463,873
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,799,619
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,173,936
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	387,542
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	837,369
(9) 前受金及び前受収益	193
3 繰延収益	1,892,811
(1) 長期前受金	6,204,038
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,311,227
資本合計	493,190
1 資本金	3,836,193
2 剰余金	-3,343,003
(1) 資本剰余金	4,772,626
(2) 利益剰余金	-8,115,629
負債・資本合計	11,013,276
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,606,045	1,358,306
資本勘定繰入	491,124	300,000
計	2,097,169	1,658,306

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	77.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。